

1. 開催日 2019年8月22日(木)
2. 開催場所 株式会社ニューメディア 役員会議室
3. 委員出席
 - 委員総数 6名
 - 出席委員 5名
 - 出席委員 武田正隆、金子聡子、
齋藤 尚、齋藤哲裕、須貝広大
 - 放送事業者側出席者 小松久弘(常務取締役本社経営戦略本部
総務担当役員)
伊藤優子(取締役米沢センター長)
佐藤大輔(米沢センター業務部長)
松田典子(米沢センター業務部
メディア企画課長)
金 順治(CCSスタジオ 制作課長)
鈴木朗子(CCSスタジオ 制作係長)
4. 議 題
 1. 会社代表挨拶
 2. 御審議
 3. 報告
 4. その他
5. 議事の概要
 1. 開会
 2. 御審議
 - 「アツキヨのお江戸からおしょうしな～」
 - 毎月第一月曜 20:00～20:30他
 - ※東京出身のアツシと米沢市出身のキヨの音楽ユニットアツキヨが活動拠点とする東京から、米沢の方言でありがとうを意味するおしょうしなの精神で日々の活動を報告するトーク番組。キヨは聴覚に障がいがあり、歌詞を手話で表現する「サインボーカル」を担当する。
 3. 報告
 4. その他

6. 審議内容

A委員

- ・福祉、教育という点から関心を持って聞くことができた
- ・オリンピック・パラリンピックも近いので、本人たちの活動をより多くの方に知ってもらう場も必要なのではないか

B委員

- ・「サインボーカル」がどのようなものなのかパーソナリティのことを調べ、改めて理解をした上で番組を聞いた
- ・「手話」というキーワードを活かした表現をすることで、理解を得られるのではないか
- ・パーソナリティの活動を地域につなげてほしい

C委員

- ・「サインボーカル」について分かりやすく伝えることが必要
- ・トークから一生懸命さが伝わってきて、地元米沢での活動にも期待したい
- ・ラジオ局として、番組そのものを知ってもらう努力が必要なのではないか

D委員

- ・元気のいいトークで一生懸命さが伝わる
- ・聴覚障がいを持っていることを毎回伝えるのは本人もストレスを感じると思うので、それがうまく伝えられると良い

E委員

- ・相槌のタイミングや回数でより良いものができるのでは
- ・SNSを活用した活動報告を行っているようなので、番組内でもSNSへ誘導するコメントがあると良い

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容

- ・パーソナリティ紹介に工夫を持たせ、地域住民の関心を高められるような番組づくり・告知に努める

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

2019年8月27日(火) FM生放送で公表

2019年8月27日(火) 自社ホームページに掲載

9. 次回の番組審議会開催予定

次回は2019年11月21日(木)に開催予定